

第477号



あぐね

人 口
住民基本台帳人口と世帯数
10月1日現在

()は9月1日から

人 口	29,573 (-10)
男	13,785 (-1)
女	15,788 (-9)
世帯数	9,989 (+8)



今
百歳

まだまだ元気です

10月2日に100回目の誕生日を迎えた 奥平 キサさん (中屋敷)

拝啓 キサおばあちゃん、百歳の誕生日を元気に迎えられ、本当におめでたうございます。現在、市内で最高長寿者たいうことで喜びもひとしおのことと思います。

明治、大正、昭和と元気に生きぬいてこれられているキサおばあちゃん、思い出もいっぱいだと思いますが、何が一番の思い出として残っていますか。これからもまだまだ楽しい思い出をつくってください。

百回目の誕生日は骨折をされ病院で迎えられましたが、しかし病院の先生は「まだまだ元気ですよ」と力強いことをいわれており、本当にうれしいことです。

大好物は「酢の物」で、好き嫌いはないと聞いていますが、それが長寿の秘けつですか。

キサおばあちゃん、いつまでも元気で長生きをして、阿久根市の将来を見守ってくださいね 敬具

61年
10月号

の実現をめざす との交流始まる！



野母崎町の皆さんを歓迎する園児ら（新港）

観光をはじめ、地域開発へ大きく前進すると思われる長崎県野母崎町と阿久根市のカーフェリー就航問題は、昭和四十七年に両市間で話が持ち上がった以来、オイルショックや経済の変動によって就航は足づみを続けていたが、一昨年「野母崎—阿久根カーフェリー就航予備調査」が行われ、その結果「航路開設の展望として旅客船をチャーターするな」として、不定期運航を進めながら長期的には定期航路へ昇格させるという方策をとることが本計画実施のためにも強く期待できる」と発表されています。

そこで、本年度から旅客船を借り上げての交流が始まりました。

まず、九月三日には野母崎町の皆さんが阿久根市に、九月三十日には今度は阿久根市から野母崎町を訪れ、将来のカーフェリー就航実現に向けて第一歩を踏み出したわけであります。

野母崎町⇄阿久根市（九月三日・四日）

阿久根大島や

働く婦人の家など見学

九月三日、野母崎町から高平米雄町長、森武嘉議長ら八十二人が阿久根市を訪れました。

野母崎町の皆さんも大変喜ばれていました。

野母崎町の皆さんは旅客船の高連船「エラスムス」二十九トンを借りあげ、午前十時に同町の臨海港を出発。約二時間後の正午に阿久根大島に到着し、当市の若松光仁商工会議所会頭、下園泰平観光協会長ら約二十人が出迎え、松の木陰で昼食会が行われました。このあと船上から黒瀬瀬戸大橋を見学してから阿久根新港へ。新港では約五百人の市民が出迎え、花火や保育園児による鼓笛演奏で歓迎し、



にぎやかに行われた歓迎会（国民宿舎）



ソーメン流しで舌つづみをうたれる野母崎町の皆さん

夜は国民宿舎で歓迎会が開かれ、新井助役が「皆さんのお越しを心から歓迎し、相互の努力により交流が始められたことを大変うれしく思います。航路促進のためにお互いががんばりましょう」と歓迎のあいさつ。これに答えて高平町長が「お互いが手をつないで一日も早く航路の就航を図りましょう」とあいさつされ、夜遅くまで焼酎をくみかわしながら交流が深められていました。

二日目は「働く婦人の家」「緑ゼンチク」また、現在建設中の「栽培漁業センター」や、車中から「総合運動公園」などを見学。昼食はめずらしい田代ソーメン流しで舌つづみをうたれたあと市街地で楽しく買い物。午後二時三十分約五十人の市民の見送るなか帰路につかれました。

誕生

おめでとう



出生児	保護者	区名
福元 清人	久	一段
富吉 真希	嘉蔵	遠見ヶ丘
谷口 直光	侃	尾崎
倉津 梨奈	康彦	倉津
松崎 奈津美	清香	大丸
川畑 進彦	安勝	大丸
坂口 大樹	重信	水田上
西園 翔	鮎	高之口
西園 美里	俊文	飛松
大田 智子	俊雄	尻無上
花木 愛	公明	釣場
東園 祐子	良	湯
浦 知世	善博	湯
迫田 優里奈	悟	筒川
赤木ひとみ	仁一	松之西
跡上 美鈴	静男	黒之浜

毎月二十日は
年金相談日です

国民年金協会



心暖まる出迎えに 感激の阿久根市参加者（臨岬港）

長崎県野母崎町↔阿久根市

カーフェリー就航

いよいよ野母崎町

阿久根市⇩野母崎町（九月三十日・十月一日）

関係団体にわかれて 意見交換会開催

一方今度は九月三十日、阿久根市から新市助役、富吉市議会議長をはじめ市議会議員や商工会議所、漁協、農協関係者、市課長など八十九人が野母崎町を訪れました。野母崎町は人口約一万人。特に漁業が盛んですが農業、観光にも力を入れています。特産品としては「水産加工品」や「ピワ」があり、また最近「水仙」の花栽培も行っており、海に面した大変美しい町です。



今後の交流について話し合う
新市助役と高平町長（左）（町長室）

まず借りあげた旅客船「ニューごとう（七五トン）」で阿久根新港を午前十時に出発し正午に野母崎町の臨岬港に到着。同港では高平町長をはじめ町民約五百人の皆さんが出迎え、花火や小学生の鼓笛演奏など心暖まる歓迎に当市の皆

さんも大変感激していました。港での歓迎式のと昼食をすませてから、世界の貝殻八千種、二万個が展示されている「野母崎マリンランド」を見学。このあと町役場会議室などで、それぞれの関係団体にわかれて意見交換会が開

かれ、自分たちの市や町を紹介したり、また今後の定期航路実現へ向けての活発な意見などができました。

夜は国民宿舎「亜熱帯」で盛大な歓迎会が開かれましたが、阿久根市での交流会で顔見知りになった方々もいすくうちとけあい両市町から踊りもでるなど楽しくにぎやかに行われました。

二日目は、長崎港やこしき島などが見渡せて大変見晴らしのよい標高二百足の「権現山」や「アワビ養殖場」「総合運動公園」などを見学。このあと約一千三百種、二万七千本の熱帯、亜熱帯の植物が植えられている「県立亜熱帯植物園」で昼食をすませ、臨岬港で特別に設けられた特産品売場で楽しく買い物。午後一時約百人の町民の皆さんの見送りをうけ帰路につきました。



町が誇る 亜熱帯植物園

第3回あくねボンタンロードレース大会

- 期 日 昭和61年12月14日(日)
- 場 所 阿久根総合運動公園～鶴川内～内田 折返間
- 種 目 3km・5km・10km
小学生・中学生・高校生・一般年齢別など23種目
- 参 加 料 一般 2,000円 高校生 1,000円 小・中学生 500円
- 申し込み 11月20日まで必着
- 申し込み先 市教育委員会 社会体育課へ



市民の健康づくり

眼底カメラを設置

動脈硬化の
発見に活用！

ー保健センターー

このほど、保健センターに眼底カメラが設置され、市民の健康づくりに利用されています。

この眼底カメラの購入価格は約二百万円。健康診査の結果により医師が必要と認めた人だけ脳血管（細動脈）の状態を撮影し、動脈硬化の有無が確認できるもので

あります。

動脈硬化は、血液を心臓から体の各部へ送る血管が固くなる病気ですが、血行の円滑化が妨げられる状態になり、脳卒中を引き起こす大きな原因となります。

保健センターでは、市民の皆さんが元気で老いるために、四十歳



市民の健康づくりに活躍する 眼底カメラ

になったら年に一回必ず健康診査をうけて、健康状態を確認してほしいと呼びかけています。

鶴川内分団へ

新しい消防

ポンプ車を配置

昭和四十四年に購入した鶴川内分団の消防ポンプ自動車は古くなったため、このほど新しい消防ポンプ自動車を購入、その交付式が八月二十七日、鶴川内地区集会所設前広場で行われました。

消防自動車の購入価格は六百七十五万円。交付式には新橋勝助助役、大塚國男消防団長ら六人と地元から鶴川内消防分団員、地区民ら約五十人が出席。式のと神事が行われ、消防自動車の活躍と大変喜ばれています。



新しく購入された消防車「若鶴号」

借りた本がいつでも返せます

協本地区に図書返却ポストを設置

市立図書館では、このほど協本地区に返却ポストを設置しました。

設置費は二十万円。市立図書館や移動図書館車「パンビ号」で借りた図書がいつでも返すことができ地区民からも喜ばれています。



協本地区に設置された図書返却ポスト

ごめいふくを
お祈りします

死亡者 年齢氏名	
倉津大次郎	59 (倉津) 達雄
手塚友一	91 (八郷) 力
倉津スエキ	87 (倉津) 市助
花本 清	86 (高之口) 實義
山口 良人	24 (羽田) 幸泰
大田 幸則	79 (田代下) スミエ
川上嘉代助	76 (山馬場) 植村幹男
坂元 富吉	55 (新町) 幸四郎
迫口 ユキ	81 (桐野下) 幸雄
森山フサノ	46 (鶴馬場) 明洋
川畑 鉄己	57 (弓木野) ヨシノ
馬場 トメ	78 (古里) 京和
宇都 盛男	52 (大川島) キヨ子
濱島栄次郎	88 (牟田) 義武
濱崎 矢七	73 (牛之浜) ツルエ

要の献血に
ご協力を

10月28日(火)
午前9時30分～11時30分
市役所

高圧ガス製造保安責任者・販売主任者 試験の案内

期日 十一月十日(日)

場所 鹿児島工業高校

受付 九月十一日～二十日

詳しくは、県総務部消防防災課

へお問い合わせください。

失わせてはならない 玄関口…「阿久根駅」

国鉄は以前から赤字経営が大きな問題として取り上げられ、小さな駅は無化に、赤字ローカル線は廃止の方向に進み、最近「分割民営化」がマスコミをにぎわしています。

これまで私たちは、その国鉄問題をマスコミで知る程度で、これほど身近に危機感はありませんでした。しかし、このほど阿久根駅が大幅に減員されることが耳に入り、想像もしていなかったことだけに大きなショックを受け、市の玄関口「阿久根駅」をこれ以上活気を失わせてはならないという強い気持ちでいっぱいです。

十一月から

六人の駅員が三人に減員

市内にある折口駅、牛之浜駅、大川駅は昭和四十七年に無人化になっており、これらの駅を見ますと見なれてきたとはいえ、やはり寂しさが感じられますが、阿久根駅も今回の減員から、その方向に行くのではないかと心配しながら、さっそく同駅に向き、福岡市駅長に話を伺いました。

「今年の十一月一日から六人いた駅員が三人に減らされ、一人ずつ時間交代で勤務につき、午後九時三十分から翌朝の六時四十五分までは不在となります。したがって駅には一人だけの勤務状態となり一人で改札から定期券、指定席券の発行をします。また、近距離の切符や入場券などは自動販売機で処理します。しかし、これはあくまでも来年三月三十一日まで

のことであって四月一日からはどうなるのか私共にもわかっていません」と話してくれました。

阿久根駅の印象が

市全体の印象に

つながる

当市は観光の町づくりとして、これまでも観光協会を中心に県内外に宣伝を行い、これからは周年観光をめぐらそうとはりきつていきます。また、夏場はご存知のように熊本方面から多くの海水浴客などが当市を訪れ、阿久根駅にもきわいを見せています。

しかし、阿久根駅が大幅な減員により寂しくなると電車を利用される、阿久根駅に降りたお客さんが



通学生でにぎわう 阿久根駅ホーム

活気のない駅を見てどのように感じられるでしょうか。市の玄関口阿久根駅の印象が阿久根市全体の印象につながるのには目に見えてわかっていきます。

また、駅周辺を中心とする市街地全体の活性化が失われてくるのではと心配されます。

イメージ一新を図り

阿久根駅を

改修中

皆さんも新聞紙上でご存知かと思いますが、鹿児島鉄道管理局では利用客との密着を図るために、行っている「リフォーム（改修）作戦」に阿久根駅も入り、現在工事が行われています。

阿久根駅は昭和二十四年に建てられた木造平家建てで、かなり古

もすがに（つがね）を

とるには許可が必要です

高松川漁協では、本年から漁業権内でもくすがに（つがね）の採捕を許可制にいたしました。

これは、大がかりな乱獲の防止と自然保護の目的で、知事が権がにの放流を義務づけて認可したものであります。

かにかは組合員で、千個以内、組合員外は千個以内で、一個五百円の鑑札が必要になりますが、この料金は権がにの放流の経費等に充当されますのでご理解ください。詳しくは、藤崎昭造（町区〇三1818）まで。

交通事故の

相談を無料で
応じています

鹿児島自動車保険
請求相談センター

▼平日 午前九時半～午後四時半
土曜日は正午まで（第一土曜日は休み）
▼弁護士相談日 毎週木曜日午後一時～四時

鹿児島市中央町 明治生命西鹿
児島ビル五階鹿児島調査事務所内
社団法人日本損害保険協会 鹿
児島自動車保険請求相談センター
☎0992-5313466
（相談は電話でも可）

活気を 市の



くなっているため、待合室などを改修して会議や催し物に利用できるフロアを設けたり、また入り口の壁面には「シカの絵」をあしらうなどイメージ一新が図られ、明るい雰囲気になります。このことは私たち市民にとっても大変喜ばしいことで期待しているところですが、しかし、建物自体は一新されても阿久根駅員の減少により活気がなくなったらイメージも半減してしまうのではないかと心配し

ているところです。

市でも さつそく陳情

阿久根駅が合理化により大幅な減員から、もしかしたら無人化の方向に行くのではないかとということ、市ではさつそく鹿児島鉄道管理局へ新幹線助役や高市市議会議長らが陳情に行きました。

「現在、阿久根市は過疎の波と闘いながら地域の活性化対策に必至の毎日であり、もし阿久根駅が合理化により大幅な減員や無人化になると過疎化を更に誘発する原

市長室から

市の活性化に ご協力を！

十月に入り朝夕めっきり冷気を覚えるようになって参りましたが、市民の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日は将来フェリー就航をめざし、長崎県野母崎町との交流が始まりました。これは、就航の話がもたらがってから、オイルショック等の影響で十数年間足ぶみを続けて参りましたが、両市町の熱意と努力で本年

困となる。また当市では長崎県野母崎町との交流も始まり観光面もさらに発展させようと努力してい

「電車利用しかなない解決策」 市民のご協力を

今や阿久根市は新幹線の停車駅からもはずされ、さらに阿久根駅からも大幅な減員から、あるいは将来無人化になるのではないかとという大変厳しい状況においこまれてい

ますが、そうなら本場に救いということであります。

今私たち市民がしなければならぬことは電車を利用し、阿久根駅に活気をうながし、駅員なしで

るので阿久根駅の将来を期待してほしい」と強くお願いしたところでありました。

市民のご協力を

はどうすることもできないような状況にすることです。

市民の皆さん、鹿児島市や川内市、出水市や熊本などに行かれる時は自家用車もたまには休ませてあげ、三回に一回ぐらいは電車を利用し、そうすることが阿久根駅に活気をうながし、将来無人化にされない一番の解決方法だと思います。

から臨時運転により人的交流を深めながらカーフェリー就航をめざそうと実現したものであります。

野母崎と阿久根は、長崎県と鹿児島県を結ぶ最短距離で、フェリー就航が実現すると両市町にとつて、観光だけでなく産業、文化の交流発展に大きな役割を果たすものと大いに期待しているところです。

しかし、海においてせつかく野母崎町とのフェリー就航に明るい兆しが見えはじめたところに、陸において降って湧いたように、阿久根駅の人員削減のことが流布されており、まことに残念なことだと思えます。阿久根駅が市の玄

関口だけに機嫌の縮小が行われますことは、いろいろの面に大きな影響があるものと考えます。

フェリー就航にせよ、阿久根駅の問題にせよ、市の活性化につながる大きな源であります。市といたしまして、市民の皆さんの期待に応えるために努力して参る所存でございますが、

何れの問題も市民の皆さんのご理解とご協力なくしては、進展あるいは解決しないことでございますので、より一層の協力添えをお願いいたします。

阿久根市長 川畑 強

各地区で楽しく敬老行事開催

“おじいちゃんおばあちゃん

いつまでも長生きを”

敬老の日の九月十五日、多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う行事が市内の各地区で開かれました。

おじいちゃんおばあちゃんが主役の区民総出の運動会、子どもたちのゲートボール大会、婦人会の皆さんの手料理を食べながらの

踊りや歌のプレゼントなど、各地区の伝統行事に定着しており、年々お年寄りが増えるにつれ、各地区の敬老行事も盛んになり楽しく和やかに行われていました。

元気にハンヤ節を披露

九十歳以上招待敬老会

九月十二日には、毎年恒例の九十歳以上のお年寄りを招待する敬老会が老人福祉センターで開かれ、九十六歳の中嶋平ワカさん（蓮の実園）ら三十三人の方が元気に出席しました。

会では新井助役が「明治、大正、昭和と生きぬいてこられた皆さん方が、いつまでも元気で長生きされ阿久根市の将来を見守ってください」とあいさつ。このあと藤間流仁志樹会の皆さんの踊りを見ながらおいしそうに料理を食べられ、また、ハンヤ節の曲が流れると、



元気な踊りもとびだした 招待敬老会

元気に踊りだすおじいちゃんおばあちゃんもいて楽しい一時をすごしていました。

生きがいを見つけ 豊かな知識と経験を 若い人に教えて

現在、日本人の平均寿命は男性七十四・八四歳、女性八十・四六歳であり、終戦前後の人生五十年の時代から八十年の時代を迎えています。

市内をまわってみますと、必ずといっていいほど老人の皆さん方のゲートボールが目に入ります。また、中央公民館や地区公民館では老人の皆さん方の「光顧大学」が盛んに楽しそうに行われています。

在宅医さん

在宅医の診療時間は午前9時から午後5時までです。急患の方以外はご遠慮ください。

10月19日

有村産婦人科③4180(栄町)

林胃腸科外科③3639(大丸)

黒木外科⑤0200(下村)

10月26日

上野医院③1055(町)

上野医院②0420(町)

平医院⑤2626(古里)

11月2日

堀切産婦人科②0263(高松)

田中外科③0553(大丸)

石原医院⑤0045(堀之西)

11月3日

大塚眼科②0306(浜)

内山病院③1551(高松)

脇本病院③2121(堀之西)

11月9日

筒井耳鼻咽喉科②0040(栄町)

喜多医院②0038(大丸)

浜之上医院③2600(脇馬場)

11月16日

阿久根内科②0578(琴平町)

北国外科②0016(町)

黒木外科⑤0200(下村)

交通事故相談日

十一月十三日(木)

市民相談室

今、老人の皆さん方にとって一番大事なこととは自分で生きがいを見つけ、楽しみを持つことだと思います。

年をとるにつれ若い人たちの隔りができ、自分の殻に閉じ込めてしまいがちですが、ちよつと勇気を出して若い人たちの中に入つて話をしたりすると、そこから自然に楽しみがで生きがいを見つけたことができるかもしれません。

また、若い人たちも「お年寄りだから」とか「かわいそうだから」とか、この気持ちが逆にお年寄りの皆さん方に寂しい思いをさせているのかもしれない。

お年寄りの皆さんの豊かな知識と経験を十分発揮させる場を期待したいものです。

九十歳以上は

九十五人

現在、市内の六十五歳以上の方は約五千二百人で市総人口の約十八分にあたります。また九十歳以上の方は市内に九十五人（男三十二人、女六十三人）います。

市では、今年も八十歳以上八十四歳までの方に記念品、八十五歳以上の方には敬老年金、また九十歳になった方には記念写真も贈りました。



子どもの珍プレーに笑いが絶えないゲートボール（内田区）

（敬称略 九月十五日現在）
九十九歳 奥平キサ（中屋敷）
九十八歳 松永八兵衛（飛松）
之浦キツ（桜ヶ丘） 山本チヨ（聖園）

九十七歳 中野長次郎（仲仁田）
九十六歳 中湯平ワカ（蓮の美園）
九十五歳 餅越セン（弓木野）
鳴森蔵（脇本浜） 山下チヨマツ（楊之西） 成尾ルイ（桜ヶ丘）
飯屋イロ（聖園）

九十四歳 村田エノ（大丸） 松林栄吉（柵） 知識ヨ子（田代下） 川畑タカ（尾原） 柏木清一郎（仲仁田）

田ノ野村キツノ（黒之浜）

九十三歳 高良武敏（大丸） 宮田サヨ（波留） 濱崎タセ（町） 川原ナヨ（高松） 築地ソルマツ（段）
宮原助（中村） 濱崎ハ八（佐湯）
松水アキ（牛之浜） 的場ツヤキ（的場） 尻無浜フジ（尻無下） 野崎藤市（黒之浜） 大瀧チヨマツ（大瀧）

九十二歳 新蔵己之助（新町） 川畑スソノ（淵） 築地ミツ（中村） 田口カツ（佐湯） 新井義雄（飛松） 前田金吉（弓木野） 高原ツル（柵） 出水アイノ（下村） 山平ウメギツ

（小瀧）

九十一歳 奥国義（大丸） 加藤ナエ（同） 坪久田チセ（波留） 宮園シモ（同） 新地吉吉（高松） 東平助（同） 脇園イロ（上野） 小牟田キツ（同） 岩切アサキ（浜） 大尾ミサ（大尾） 猿楽ミヤ（佐湯） 西田駒助（高之口） 馬見塚ヨ子（馬見塚） 籠オトギツ（速矢） 岡田貞義（下桑） 有田嘉市（葛野） 上野ヤエ（羽田） 牛之濱ナツ（牛之濱） 幸礼ワセ（同） 奥平サカヘ（中屋敷） 下園ムメキツ（尻無上） 若松サヨ（同） 若松正（同） 牧尾休次郎（黒之上） 竹原伊助（八郷） 手塚友二（同） 中池ユキノ（聖園）

九十歳 池上茂市（大丸） 宮田エタ（波留） 勝目テル（高松） 坂口三五郎（上野） 有田シナ（同） 兼アイ（同） 小田原九蔵（浜） 安川トモ（淵） 大尾助（大尾） 築地新軍助（中村） 猿楽ミヤ（佐湯） 西田ヨシ（高之口） 石沢章（山馬場） 上村傳太（柵） 中園ツルマツ（横手） 明聖典（永田下） 末吉ミヨ（陳之尾） 車礼カオ（牛之浜） 中野五市（川畑中） 川畑ヒサマツ（同） 奥平コヤノ（中屋敷） 鶴園ナツ（尻無中） 荒田フサギツ（上原） 笹原ケサマツ（桐野上） 大野キオ（桐野上） 早水カメマツ（古里） 山下半兵衛（楊之西） 大瀧ハツカメ（大瀧） 井ノ上シズ（桜ヶ丘） 橋口モヨ（聖園）

給油所の日曜当番店

10月19日

折口石油（折口）⑤0251

阿久根市農協（波留）②0075

10月26日

田野興産（赤瀬川）②0657

松水石油（牛之浜）③1342

11月2日

マルハ商事（淵）②1555

池上石油（新町）②0807

11月9日

築瀬石油（赤瀬川）②1093

田中石油（大川）④0039

11月16日

阿久根石油（鶴見町）②0318

寺下石油（楊之西）⑤2077

富吉石油（佐湯）②1418

お年寄のために 今年も寄付

横浜市の広田松治さん

横浜市鶴見区にお住いで、新町出身の広田松治さん（48）から五万円の寄付がありました。

これは、阿久根市のお年寄りのために役立ててくださいと、敬老の日を寄付されたもので昨年もいたいています。ありがとうございます。

市青少年少女弁論大会
市長賞(中学生の部)

忘れてならないもの

鶴川内中 三年 大尾 恵



「この灯は、君達が燃やしている生命や情熱や友情の炎に似ている。五年後、十年後に君達は、どのような炎を燃やし続けているのだろうか。」

今年の五月、霧島で三泊四日の日程で、全校生徒が参加して自然教室が開かれました。これはそのキャンパス・サービス・ウィスの時の先生の言葉です。暗闇にゆれるロソクの炎を私は見つめて思い出した。「五年後、十年後、私はどんな炎を燃やし続けているのだろうか」と。自分の進路を真剣に考えなければならぬ中学三年生の私には、この言葉がズシリと重い響きをもつて聞こえました。

現在の社会は、科学が発達して生活のすべてが便利になりました。両親から聞く昔の生活とは比べも

のにならない気がします。正直言って、こうした科学の発達する二十一世紀の社会に、果たして自分がついていけるのかとても不安です。しかしそうして二十一世紀の社会を背負って立つのも私達、現在の中学生です。恐れと不安ばかりを抱いていてはならないと思うのです。

今年の三月、私達の学校にパソコンが十七台入りました。最初、この機械がすえつけられるのを見ていた私は、とても不安でした。おおよそこんな機械とは縁遠い生活をしている私には、恐ろしいものに見えると同時に、果たして自分に使えるのだろうかという心配が先に立ちました。しかし、使い始めて、キーボードを押すことによつて、文字や記号がディスプレイに表れて来た時は驚きと感動でいっぱいでした。

——中略——

確実にやってくる科学社会を、私は恐れと不安だけをもって避けて通ることは許されたいと思うのです。それどころか私達の手で新しい二十一世紀を作り上げていく覚悟と準備が必要だと私は思います。

しかし、それよりもまだ大切なものがあると私は思います。それは、どんなに科学の発達した社会であっても、いや、科学の発達し

た社会であればこそ人としての思いやりの心を失ってはならないという事です。

いつか先生に、横浜の公園のベンチに寝ていた老人が、少年達になぐり殺されたという話を聞きしました。繁栄する社会の裏で人々の心が荒れずさんでいくのを感じずにはおれません。

この事を思う時、私は運の実園慰問の時のA君の姿が忘れられません。交歓会が始まる前に各部屋から会場へお年寄りの方を案内しなければなりません。目ごころはい

かめしく、気むずかしいA君が、むずがるお年寄りを、笑顔で浮かべて、ソツと抱きかかえるように案内してくるのです。すると他の男子も、「オイも連れてくつ」と

立ち上がって行くのです。私は一瞬、熱く美しいものに触れ、友人の新しい一面を知った気がしました。それと同時に、人間は本当に優しい心を持っているのだということを感じ知らされました。

この心こそ、今後私達が忘れてならないものだと思います。二十一世紀を支える基盤だと感じるのです。一人一人がこの心を忘れなければ、いじめや自殺のない、うるおいに満ちた二十一世紀になると私は信じます。

五年後、十年後、いや二十世紀は、私達がともす炎で明るく照らし出さなければなりません。そして私達一人一人が暗闇を照らす一本のロソクにならなければならぬと思うのです。

読書は未来の
ニードメイト

第四十回を迎える読書週間は十月二十七日から十一月九日までの一週間です。

市立図書館では、一人一冊までの図書無料で貸し出ししており、また、図書館に近い地区には「文庫」を設けたり、移動図

書館車による出張貸し出しをして市民の皆さんの読書推進に努めています。

どうぞこの機会に図書館を生涯学習の場として大いにご利用ください。

図書館だより

今月の新着図書



としょかんだより

- ▽瀬戸内寂聴「いのち華やぐ」
- ▽阿川弘之「大ぼけ小ぼけ」
- ▽名誠「ワグと低気圧」
- ▽丸谷才一「天だつて散歩する」
- ▽山崎洋子「花園の迷宮」
- ▽山口洋子「帰りを忘れた男たち」
- ▽北方謙三「月付変更線」
- ▽皆川博子「金津恋い鷹」
- ▽五木寛之「疾れノ逆ハシぐれん隊」
- ▽早坂暁「ダウン・タウン・ヒーローズ」
- ▽島田雅彦「ドンナ・アシナ」
- ▽安部公房「死に急ぐ婦人」
- ▽山口瞳「私の根本思想」
- ▽中島みゆき「女歌」
- ▽本田靖春「警察回り」
- ▽津本陽「富士の月唄(上・下)」
- ▽林真理子「美食倶楽部」
- ▽連城「紀彦「離婚しない女」
- ▽丸山健一「月に泣く」
- ▽佐橋慶子「全国のおじいさんの台所」
- ▽井上光晴「西海原子力発電所」
- ▽中上健次「十九歳のジェイコブ」
- ▽渡辺淳一「白夜—緑陰の章—」

阿久根歌壇

折田 憲司 選

（秀逸）

前山のなだり吹き上ぐる梅雨の風
椎の葉裏を反して送し

赤瀬川 海平 三歳

（評）

山に吹く風と椎の葉裏を重ねた
手法で自然の一つの表情を鋭い感
覚で鮮かに把握し、自然に対する
敬虔な姿勢は行者を思はせる。

（佳作）

土手を焼く煙なびかふ白壁の上蔵
を残し暮れなづみをり

大丸 橋崎 幸

今年より健康保険税六期となりそ
の税額に潮息の出づ

編本 赤崎 タエ

小娘のするどく啼ける裏山を包
みて寒き露這ひのぼる

本町 河南 節子

俄雨やみて射す陽に青紫蘇の香に
たつ知にをりて早ぬく

海 川知 ヨツ

晴気扇の回る音のみ響きある畜舎
に草食む牛の眸やさし

愛媛 小島 和子

里こころつし生徒ら馳ましてハ
ワイ海上マゴロ流する

愛媛 小島幸太郎

松子如に働く老妻愛（かな）しか
り福島に残せし母に似るゆゑ

浦 兼子 孝光

不況耐へ生きねはならぬ苦しさを
酒に紛らし喉に紛らす

大丸 福田 耕雄

孟蘭盆にバーベキューする若き等
に抵抗もちて吾も加はる

編本 京田久美子

わが前に白鷺一羽朝明けの川辺に
凜と脚のべて降る

編本 宮原 範子

勤務ゆゑ朝夕通ふこの道辺今朝は
くれなゐの彼岸花咲く

赤瀬川 下田 京子

露草は空の満ち青あたらし農の働
く野づらに群れて

赤瀬川 遠矢 律

幾たびも読みにし此の本ひもとけ
ばまた新しき勇気わき来る

本町 折田 順子

這ひ回り疲れて眠る孫を背負い日
覚めさせじと気つかふ吾は

大丸 森田 カオ

戸袋に登り来し蟬すき遠る羽根ふ
るはせて鼓より出づる

高松 勝目 悦子

鉢植のくちなしの花匂ふ昼黄色の
蝶低く飛び来る

琴平 川知 スミ



サークル紹介 36

サーティ・ワン

（ソフトボール）

「我ら同級生」

我がチームは同級生だけを集め
て2年前に12人で結成され、チー
ム名をメンバーの生年昭和31年
にちなんで「サーティワン」としま
した。したがって同級生しか入れ

ません。チームの成績は結成以来
無勝を誇っています。しかし試合
後の残念会では大変盛り上がり、
カラオケや飲ん方の成果はかなり
上がっているようです。これ以外
にも毎月一回集まって親睦を深か
めています。今後このように「勝
敗よりもチームの和を大切に」を
モットーに、ソフトだけでなくい
ろいろな事にチャレンジして、その
名も「サーティワンスポーツクラ
ブ」として共に頭のはげまるまで和
気あいあいとした仲のよいチーム
であり続けたいと思います。

あくねの

みんなわ 55



下男の与助 (2)

いよいよ上正月が近づいた大晦
日のこと

下男の与助に

「与助、与助 かまどん神様

は まつ、くれたのかい」

と、主人がいました。

与助は「はい、掃除もし、しめ
かざいも すませました。」

と、答え、いつものとちで、

「上米悪かれ、白穂は良かれ、
大島前の えつがにに 実のは

いいもんこと と、かまどんお

神様にたのんみやばました。」

と、いいました。

主人は 頭を傾けて

「そや 与助 いけん話が ゆ

てかせて みれ」

「上米が悪かったら いけんな

つとよ」

与助は

「わたしや、上米は今まで食た

ことがなかし、白穂の小米はつか

いじやいもんで、白穂に良か実
がなれば、よかとにと、思もし
て、えつがにを取ってきやつて
も、実は、ひとつも 食わせん
じん、からんとこいばっかい
食わせやいもんで」

と言いました。

昔は、今のように食べ物が豊
富でなかつたので、奉公人は米
飯やえつがになんか食べられな
かつたのです。

今はかまどがなくなってお祀
りしなくなりましたが、昔は火
の神様として大事に祀り、お供
え物も上げていました。

古老のはなしから



広場

③1211内214へ



むかしのこと あそび 指相撲 ④0

立ってでも、座ってでもできる。庭でも、家の中でも、二人以上ならできる。
おたがい親指をのぞいた四本の指をしっかりと握り、相手の親指をおさえこんで、土敷えたほうが勝ちとなる。手のひらに汗がにじんで人のぬくもりが感じられて楽しい。

親子のふれあいを深めようと九月六日、脇本小学校で「かかしコンクール」が行われました。
これは、同小学校五年一組の三十八人の子どもたちが、今年六月約三アの田に餅米の苗植えを行い、この稲がスズメなどに荒らされないようにと、同教室の親と子が一緒に取りくんたものです。
かかし作りは体育館で行われ、まず、お母さん方が持ち寄ったこ

お父さんお母さんが審査委員 スズメもこわがるでしょう、 脇本小学校かかしコンクール



力作ぞろいの かかしコンクール

ちそうで親子一緒に仲よく昼食会。このあと審査員であるお父さんとお母さん方の見守る中、早速かかし作り。ハチマキ姿でがんばる児童も見られました。
できあがったかかしは一斉に披露され、刀やカマを持ったのや、色鮮やかな着物を着たかかしにお父さんお母さん方は爆笑の連続。全部のかかしに「スズメがこわがるでしょう」とてもカッコいいで

がんばっています



ともゆき
西園与之さん(18)

西目 高之口

上野医院 看護士

「以前から看護士になって人のために役にたきたいと思っていました。現在、準看護学校に通いながら仕事に勉強にがんばっています。」

「よう」などの賞が贈られ、楽しいコンクールでした。
僕も私も
泳げるようになったよ

—水泳教室閉講式
(B & G プール)



わが子の力泳に拍手を贈るお母さんたち

六月初旬に開講した水泳教室が九月十四日、B & G プールで記録会をかねて閉講式が行われました。
プールには約四百人の教室生の子どもたちと、わが子の力泳を見ようと集まったお父さんやお母さんでいっぱい。
まず初めに教室で技術向上に打ちこんだ子どもたちが模範水泳を披露。次に開講前には全然泳げなかった子どもたち約二百人が次々と水の中に入り、お父さんお母さん方の拍手を受けながら二十五メートルを泳ぎました。

に挑戦。泳ぎついたり子どもたちは得意満面。今年の夏の成果にうれしそう。
このあと贈られた記録賞状を見ながら、もっと早く長い距離を泳ぎたいと、もう来年の夏を楽しみにしているようでした。

交通安全を願って

大型看板を設置

—ロータリークラブ—

九月二十一日から二十三日までの秋の交通安全運動にちなみ九月十九日、阿久根ロータリークラブ(日笠山和人会長)が交通安全を訴える大型看板を設置しました。

設置したのは国道一好線、赤瀬川マキオホームセンター付近の交通量の激しい所。看板には「ベルトをしめ、心をひきしめて安全運転」などの標語が書かれ、会員はこの設置により、交通事故が一つでも少なくなってくればと願っています。



交通安全を願って
設置された大型看板

ハイ 元気だよ



瀬戸山 静香ちゃん(3歳)

田代中区

瀬戸山敏雄さんの長女

「笑顔を忘れずに

素直に育ってほしい」

ちとせさん(お母さん)

大川中学校 全国大会優勝記念に

剣道防具 十組を寄贈

神之田小市さん(仲仁田区)

このほど大川仲仁田区の神之田小市さん(83)が、大川中学校剣道部の全国大会での優勝に感激し、その記念にと剣道防具一式を十組(九十万円相当)贈り、生徒や先

生方から喜ばれています。神之田さんは六十五歳頃まで石切り工の仕事をしていましたが、体を悪くされ、現在は労災の年金で生活、奥さんを十二年前に亡くされ一人で暮らしています。これまでも「子どもたちにしっかりと勉強して欲しい」と、出身校の大川小学校にテレビなど(二百万円相当)を寄贈されたことも



みんなの

行事・催し物など
お寄せ下さい。



生徒代表に防具を贈る 神之田さん

あり「自分で働いたのではなく、いただいているお金なのでせめて地域のために役にたてれば」と、神之田さんは話されています。同校では、さつそう防具の裏に神之田さんの名を刻み、試合用として大事に使い、善悪に比べられるようなばりりたいと生徒もはりきっていました。

幼年消防クラブ発足

火事を見つけたら すぐ知らせます

「阿久根幼稚園など」

阿久根幼稚園(上野リョ園長)で九月四日、幼年消防クラブが発足し、この結成式が行われました。結成式には市消防署から三人が出席。船元消防署長が「火事の怖

元気いっぱい

楽しい汗

市身障者スポーツ大会
第六回市身障者スポーツ大会が九月十七日、市民体育館で開かれました。

大会には約二百人が参加。地区別対抗でピンとおしや玉入れなど十種目が行われ、不自由な体を感じさせず元気いっぱい競技に参加し、楽しい一日を過ご



カブへのボール入れに元気に挑戦参加者



大きな声で誓いのことばを述べる園児たち

が行われ、結成を喜んでいました。また、阿久根保育園、華華保育園めぐみ幼稚園、みどりが丘保育園も同クラブが発足しました。

鴻区(四十歳以上) 優勝 上原区(四十歳未満)

婦人ミニバレーボール大会

第五回市内区対抗婦人ミニバレーボール大会が九月二十四日、十五日の二日間、B & G体育館など三会場で四十歳以上と四十歳未満の部に分かれて行われました。

参加チームは四十歳以上の部に十チーム、四十歳未満の部に二十チーム。お父さんや子どもの応援も加わり楽しく行われていました。二位以下は次の通りです。

段 楊之浦東 二位 新町 三位

段 楊之浦東 二位 鴻区 三位

段 八郷



熱戦をくりひろげた ミニバレー大会

沿岸漁業を営む皆さんへの公庫資金の案内

種 類	融資限度額(万円)		利 率 %	返済期間(年)	
	個人	法人		償 還	うち据置
漁船の建造等	1,800	3,600	3.5	15	3
	1,800	3,600	4.5	25	8
養殖施設の 造成改良等	内水面養殖 1,200 海面養殖 1,200 漁 具 2,000	2,400 2,400 2,000	6.05	15	3
災害整備等に 要する費用	一般 災害 再建整備	60 150 500	一般 4.85 災害 4.6	20	3

詳しくは市水産課が漁協へお問い合わせください。

9月の市内交通事故

(Xは前年 累計)

1月から9月まで

発生件数 17 (14) 127

死亡者数 0 (1) 2

傷者数 21 (16) 160

ワンちゃんの
引き取り

10月28日

11月4・13日

午前10時～10時30分

保健センター

消防

ミニニュース



(一)は一月から九月まで
九月の火災発生数 1 (13)
救急車出動回数 55 (498)

お知らせ

潟土地区画整理事業関係者の皆さんへ

先に地元説明会など実施した潟土地区画整理事業について、鹿兒島県知事の認可を得て十月六日事業計画が決定し、いよいよスタートすることになりました。

具体的な事業の取り組みについては今後その都度お知らせしますが、当面次のことについてご承知ください。

(1) 施行地区内の土地について所有権以外の権利(借地権等)で登記のないものを有する方は十月三十日までに届出が必要です。

(2) 施行地区内土地の形質の変更、建築物の新築、改築または増築を行うおとす人、および重量が五トンを超える物件で容易に移動できない物体の設置またはたい積を行う場合などは県知事の許可が必要です。

(3) 区画整理審議会の委員の選挙期日は十二月二十一日です。施行地区内の土地所有者および借地権者の方は選挙人名簿の総覧を十一月五日から二週間行います。

(4) 換地を定めるときの基準となる従前の各業の地積は十月六日現在の登記簿上の地積とします。この地積が事実と相違すると認めるときは十二月五日までに地積の更正を申請することが出来ます。届出等については、市都市計画課へお問い合わせください。

農業機械科・農業工学科
農業科・農業経営科

阿久根農業高校

阿久根農業高校では、昭和六十二年度から農業機械科を農業工学科にして、さらにこの学科を機械と土木コースにわけ、また農業科を農業経営科に改めます。家政科は変更ありません。これは現在の産業社会の多様化、

技術の高度化のためにコンピュータ利用学習も行われ魅力ある学科作りをめざしています。

屋外広告物は
正しく掲示を

看板、ポスター、ネオンなどの屋外広告物は、私たちの生活にいろいろな情報を提供してくれ、しかし、ルールを守らずに掲示すると、街の美観を損ったり、住民に危害を及ぼしたりしますので、ルールをよく守って美しく安全な街づくりに努めましょう。

社協だより

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。(敬称略)

宇都秀雄(戸) 猿楽忠(浜) 久高敏文(下村) 戸島成子(川内市) 櫻八重貞雄(橋之東) 本中野茂(寺山) 的場フエ(仲仁田) 中川虎男(湯) 川崎一枝(段) 倉津市助(倉津) 橋口寛(新町) 坂井賛洋(町) 花木実義(高之口) 森山雅功(脇馬場) 吉永ツル子(牛之浜) 富澤美義(黒之浜)

訂正とおわび

9月号12ページの「消化器」は「消火器」の誤りでしたので訂正しておわびいたします。

編集後記

九月十五日の敬老の日、内田区で子どもたちとお年寄りのゲートボールが行われると聞いたので行ってみた。

公民館前広場に着くと中学生が男女八人、お年寄りが十五人ぐらいで試合が楽しく行われていた。お年寄りは子どもたちにルールや技術の一つ一つやさしく教えるがらの試合。しかし、子どもたちの珍プレーに両チームともこらえきれず爆笑が続く。

子どもたちにとっては楽しい休みの日。しかし、おじいちゃんやおばあちゃんにせめて敬老の日だけでも何かしてあげたい、喜んでいただきたい、その強い気持ちからゲートボールを計画したのである。

今、子どもたちは塾に、また一分でも勉強をという厳しい時代に生きている。しかし、内田区の子どもたちを見ていたら、勉強ももちろん大事だが、子どもたちにとって忘れかけている何かを見たような気がした。それは、やさしさかもしれない。思いやりかもしれない。

ただ言えるのは、このように子どもたちばかりであれば、今、世の中で問題になっている「イジメ」など起きるはずがないと思った。(英)